

事業名

地域と連携したリアルな体験活動充実事業

団体名

山口県

背景・課題

- コロナ禍で減少した子どもたちの体験機会は徐々に元に戻りつつあるが、少子化や核家族化、デジタル化により、今後、子どもたちのリアルな体験が不足していくことが課題となっている。
- 本県においても、自然の家等における体験活動に減少が見られ、児童生徒の体験機会の減少が課題。また、体験活動の実施主体の確保と指導者やボランティアなどの人材育成も課題である。

事業趣旨

- 学校や地域、企業、教育機関等と連携したリアルな体験活動を通じて、多様な他者との協働的な学びを提供する山口県の地域連携教育のモデル事業を構築し、県内普及を図ることにより、子どもたちの「社会を生き抜く力」として必要な非認知能力の向上をめざす。

事業の内容

<実施体制>

推進委員会

助言・提言
照会・報告

高校生・大学生による企画熟議

プログラム等のアイデア提供

<実施内容>

しまキャン 企画熟議アイデアを具現化	7/20 ～ 7/21	周防大島町 各地	小4～ 中学生 16人	環境学習、シュノーケリング（二ホンアワサンゴ観察）、炭づくり体験、環境整備、水辺の安全教室、カヌー、SUP体験
体験格差解消事業	7月 ～ 1月	油谷青少年 自然の家、 深坂の森	小・中学生 合計 12回 202人	カヌー、SUP、釣り、釣った魚の調理、火起こし、BBQ、テント設営、焚火、焼き芋、マウンテンバイク等
やまぐち アドベンチャー キャンプ	7/28 ～ 7/30	十種ヶ峰周 辺山城	小5～ 中学生 31人	バックパッキング・野外調理、テント泊、水浴び（川）
魅力発見 エコツアー 企画熟議アイデアを具現化	11/2 ～ 11/4	周防大島町 各地	小4～ 中学生 16人	フラダンス体験、竹灯籠づくり、みかん収穫体験、ジャムづくり・レイづくり、みかん鍋づくり、レジンアート作成、なぎさ水族館見学、二ホンアワサンゴ観察、発表会等
宇宙の旅 inやまぐち	1/18	山口県セミナーパーク 株式会社伸和精工	小3～中学 生及び保護 者 53人	講義・演習「フィルムケースロケット」、宇宙食体験（宇宙おにぎり試食）、株式会社 伸和精工工場見学、企業ブース見学

事業の具体化と実施

企画

- ・県
- ・株式会社FEEL
- ・長尾八幡宮 等

<企画熟議>

- ・山口県立大学
- ・周防大島高校

事業の具体化と実施

- ・県・周防大島高校
- ・株式会社FEEL・長尾八幡宮
- ・山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会・株式会社樹・NPO団体 等

<成果の普及方法>（山口県HPに掲載）

報告書

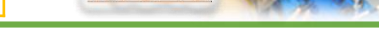
- ・「しまキャン」「アドベンチャーキャンプ」「魅力発見エコツアー」の報告書を作成

- ・市町教育委員会や青少年自然の家、青少年教育団体や学校等に送付し成果を発信

パンフレット

- ・事業全体の概要、連携団体や連携内容等をまとめたパンフレットを作成

しまキャン

体験格差
解消事業アドベンチャー
キャンプ魅力発見
エコツアー宇宙の旅
inやまぐち

成果及び今後の展開

<成果>

- 既存のネットワークを活用しネットワークを広げたことにより、体験活動の実施にあたって、専門的な活動や地域ならではの活動等の多様な活動を実施することができた。
- 西部地域で実施した「体験格差解消事業」では、今年度の実施主体者が中心となり来年度も継続実施する方向であり、持続可能な体験活動を実施する実施主体者を確保する事ができた。
- 高校生や大学生が企画熟議やボランティアとして体験活動に参加することで、社会参画意識をもった次世代のリーダーを養成することができた。

<今後の展開>

- 県内東部地域で実施した「しまキャン」、「魅力発見エコツアー」での連携協働体制の構築や実施運営ノウハウを、県内の他地域の教育委員会や自治体、企業、青少年教育団体等に周知し、今後の自走化を視野に県と連携して体験活動を実施する他地域の実施主体者を発掘する。
- 体験格差解消事業について、広報や事業成果の発信等を県が支援する事で、社会貢献意識をもつ企業等の体験活動への意識啓発を行い、新たな体験活動の実施に繋げる。
- 体験活動ボランティア登録者へのダイレクトメールにより、県内の体験活動ボランティア養成研修会の周知を一括して行い、研修会参加者を増やすことで、県内全体の体験活動に係る人材育成の充実に繋げる。